

大雪山国立公園における持続可能な地域振興と 観光開発を学ぶ

～JICA 留学生が北海道大学、上川町、上川高校の生徒と共に～

国際協力機構（JICA）北海道センターでは、毎年、開発途上国から約40人の留学生を招く人材育成事業を実施しています。彼らは、北海道大学、帯広畜産大学、北見工業大学の修士課程・博士課程に籍を置き、学位の取得を目指しています。当センターでは、彼ら留学生を対象とし、北海道の地で培われてきた特有の開発事例を学ぶ「地域理解プログラム」を毎年実施しており、今年は大雪山国立公園と上川町を事例として、「持続可能な地域振興と観光開発」をテーマに実施することとなりました。

留学生たちはテーマに即した講義や上川高校の生徒たちとの交流・相互学習、ICT技術を活用し産官学で連携して国立公園を保全するための参加型活動の現地視察を通じて学びを深めることとしています。プログラムは講義と実習の2部制で構成されます。第1部として、2023年8月4日、北海道大学地球環境科学研究所の渡邊悌二教授と同大学農学研究所の愛甲哲也准教授に、日本における国立公園の位置づけやその変遷、観光や気候変動が与える国立公園における影響について講義を頂きました。



第2部の実習では、留学生24名が上川町を訪れ、上川町役場にてテーマに関連する行政側の取り組みについて講義を受け、その後、特にSDGsの観点から地域の将来について事前学習を進めてきた上川高校にて、全校生徒と留学生との混成グループに分かれた相互学習を行い、その成果をポスターとしてまとめます。その翌日には大雪山国立公園内でICT

を活用した生物情報アプリを使用し国立公園を保全することを目指した参加型活動¹を体験します。

<第2部 実習日程> (予定)

8月24日(木) 11:00~12:00 上川町かみんぐホール リハーサルルーム1・2
(上川郡上川町北町114-1)

上川町役場地域魅力創造課

講義「上川町の取り組み(観光業の振興、自然環境の保全と活用)」

8月24日(木) 13:25~15:15 北海道上川高等学校

(上川郡上川町東町148)

相互学習「自然環境・開発・私たちの暮らしに起きていること」

高校生と留学生による発表と意見交換

8月25日(金) 9:30~16:00 大雪山国立公園黒岳

北海道大学渡辺教授と留学生によるアプリ使用体験

豊かな自然とそこに暮らす人が如何に共生していくか、北海道の未来を担う高校生と留学生が意見交換を通じて学びあう場について、ぜひ取材をご検討ください。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA北海道(札幌) 研修業務課 松本

TEL080-7196-8396 e-mail: Matsumoto.Kenichi@jica.go.jp

¹ 指定のエリア内でアプリを使い、動植物を撮影するとAIがそれらの名前を判定し、登山者はゲーム感覚で取り組みながら、動植物のデータ収集にも寄与できる。収集したデータは、植生調査・研究に活用される。